

目次 Contents

役員各位一覧	2
代表理事組合長 新年の挨拶	3
中央会会長 新年の挨拶	4
酪農対策協議会会長 新年の挨拶	5
青年部・女性部長 新年の挨拶	6
乳牛改良同志会会长 新年の挨拶	7
関連会社 挨拶	8
試験場通信	9
営農対策情報	10
別海高校活動報告	11
JAバンクからのおしらせ	12~13
インフォメーション	14
税務署からのおしらせ／乳質乳価	15
十二支・午年の豆知識	16

令和八年
午年





中春別農業協同組合

謹んで新春の
お慶びと申し上げます

佳き年を迎えた皆様のご健勝を

お慶び申し上げます

本年もようしくお願ひ申し上げます

令和八年元旦

監事(員外)	森	大内	牧山	田崎	西川	代表理事組合長
監理	高橋	由祐	泰治	浩二	寛穂	西川 寛穂
監理	松忠	内湊	修二	志浩	一吉	伊藤 一吉
(総務経済委員長)	兼義	剛史	浩二	朝志		副組合長理事
理事	武忠	祐史	浩二	永武		専務理事
理事	義武	悟史	浩二	山武		常務理事
(営農生産委員長)	他職員一同	忠悟	浩二	永武		理

中春別乳牛改良同志会会長	寺澤	浩二	外会員一同	上田 泰治	中春別酪農対策協議会会長
中春別地域河川流域環境保全 推進委員会委員長	山崎	浩二	外会員一同	青野 大地	中春別農協青年部部長
中春別乳牛検定組合組合長	西川 寛穂	外組合員一同	齋藤 道子	中春別農協良質生乳生産 推進委員会委員長	
中春別農協農業後継者 対策協議会会长	伊藤 一吉	外会員一同	山崎 浩二	外部員一同	
中春別農協年金友の会会長	紫藤 正幸	外会員一同			



新年のごあいさつ

中春別農業協同組合 代表理事組合長

西川 寛 総

新年明けましておめでとうございます。

皆様に於かれましては、日頃より農協事業にご理解とご協力、ご利用を賜り感謝申し上げます。

2026年の年頭に当たり、ご挨拶申し上げます。昨年を振り返りますと、憲政史上初の女性首相、高市内閣総理大臣の誕生とその内閣のメンバーによるこれまでの日本閣僚では考えられなかつた程のストレートな物言いが物議をかもしながらも、国民からは何か変わるものという期待から高い支持を受けておりますが、実際に50年変わらなかつた石油暫定税率が撤廃される等、総理が変われば国民生活が肌感で変わる体験ができたことは、国民の政治への関心が高まる良い機会になるのではないかと存じます。

農業と政治、特に酪農は食料農業政策によって日本に導入され、以後密接に連携をしながらここまで酪農地域として発展を遂げてまいりました。昨年の参議院選挙においては、当地域の大変高い投票率によって全国農協団体推薦の東野秀樹議員を始め、地元や酪農に

関連する議員を全員当選させて頂きました事に心より感謝申しあげます。

酪農情勢を見ますと、昨年二度の乳価改定によつて9月出荷分から平均で130円を超えており、戸別では140円に達した生産者もいるように、乳業者・消費者の理解を得ながら適正価格への対応を進める一方、個体販売に於いても落ち着きを取り戻した事で農家経済は一息ついた状況ですが、円安の進行と高止まりの生産資材・建築資材により新規投資が困難な状況が継続しております。加えて、脱脂粉乳の恒常的な全国協調対策の実施無くして計画生産の自然体の移行は難しいのが現状であるため、今後も切れ間ない消費拡大対策と消費者への理解醸成が必要不可欠となります。

昨年は、農協設立50周年記念誌の発刊をさせて頂きました。改めて先人の労苦と努力に感謝申し上げると共に農協の存在意義について考えるところです。

何もない未開の大地に開拓の鉄が入り、開拓者が寄り添い合い自ら安心してこの地で暮らしていく

ための組織を立ち上げ、資材の安定供給、農畜産物の有利販売、経営の保証、医療と薬等、総合農協として地域と共に発展をしてまいりましたが、この50年で地方の暮らしも劇的に豊かで便利になり民間サービスも充実、都会との差をあまり感じない日々になり、自然が豊かな分かえって生活しやすいと存じます。

一方で、経営者の世代交代も進み、個人志向が強まり農事組合や農協との付き合い方も希薄になる事が気になります。どうしても農協は、総合事業であるがゆえに数年での職種異動を繰り返すため、専門性を特化することが難しく、便利さに於いてもポイントを絞ると劣りがちですが、トータルサービスで考えれば確かに便利で頼りになる存在です。残念ながら当農協に於いても、組合員の減少が深刻化しております。民間はお金と人のある所に集まり、人のいらない所からは離れます。当たり前のように存在していた農協ですが、組合員が自ら運営していることを再確認して、生活と営農の安心を

守る存在でありつづけるためにも、日頃の利用と結集が大切となりますので、あらためて自分事として農協に対してもご指導をお願い申しあげます。

中春別地域の強みである、自給粗飼料の高品質化を始めとする酪農基盤強化とカウコンフォートの取り組みを強化して、乳牛が能力を発揮できる環境整備と施設の長期有効活用対策を積極的に支援をいたします。特に近年の猛暑に対応した暑熱対策に取り組んで頂きたくお願いをいたします。共に知恵を出し合い地域の魅力と有利性を発揮して、活気とやさしさが響き合う未来を創造していきましょう。

結びになりますが、令和8年が皆様にとって穏やかで輝ける一年になります。健勝でご活躍をされますことをご祈念申し上げますと共に、各関係機関の皆様に於かれましては、更なるご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事長

樽 井

功

新年あけましておめでとうござります。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることが存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が

出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

J Aグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料



られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。また日頃より当会の活動に対しまして、多大なるご理解とご協力をいただきてる事に心よりお礼申し上げます。

酪農情勢は、円安による物価高騰また配合・生産資材・機械の高止まりにより経営は依然として厳しい状況が続いております。その様な中、ホクレンによる乳業メーカーとの乳価交渉により期中で二度の値上げがなされ、一定程度の収入面での改善がなされたのかと思ひます。しかしこれは、更なる乳製品など食料の値上がりを意味し、消費者としては苦しいものが思ひます。中央要請では、補給金・集送乳調整金について生産コストを適切に反映した単価となる様また、経営安定のため生産者の意欲が損なわれないよう十分な予算の確保について限られた時間の中ではあります

が訴え活動してまいりました。また需給調整に対し我々酪農家をはじめ、農協関係団体一丸とな

り需要拡大に向け国民理解に繋げていく事が重要なになってくると思

います。このような状況の中、当

会としまして道農政部との意見交

換・国会議員及び農水省への中央

要請を実施していきました。

最後になりますが、今年は会員

の皆様にとって更に良い年となる

と願いまして新年の挨拶と致しま

す。

となり物価高騰対策を柱に動き出しています。当会としましても、会員の皆様の声をできる限りくみ取り届けていければなど考えております。

最後になりますが、今年は会員の皆様にとって更に良い年となると願いまして新年の挨拶と致します。

道農政部とは、畜産クラスターによるトラクター導入の知事特認、新規就農の更なる後押しをお願いします。

とりまして新年の挨拶と致します。会員の皆様の声をできる限りくみ取り届けていければなど考えております。

中春別酪農対策協議会 会長 上田泰治



新年のごあいさつ





青年部活動を通して

中春別農協青年部 部長 青野大地

新年あけましておめでとうござります。

当青年部活動に対しまして組合員皆様をはじめ、農協や関係機関の皆様におかれましては、日頃よりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと一番草の収穫時期には天候に恵まれ、良質な粗飼料を収穫することが出来ましたが、その後の干ばつと高温、長雨などの天候により二番草の収穫に影響がでました。また夏場の猛暑による牛へのダメージにより乳量の低下などの影響もありました。酪農情勢は飼料、肥料など様々な経費の高騰は続いたままで、物価高の影響もあり厳しい中二度の乳価の引き上げや個体販売の価格も上がってきて明るい兆しもありました。

当青年部では2023年の秋から始めたノースキッチンさんとのコラボカレーを今年も引き続き農協店舗の春の感謝祭と秋の収穫祭で販売しました。女性部と合同でお中元、お歳暮事業の実施をし、昨年に引き続きコラボカレーも使わせてもらいました。それに別海

町交流館ぶらと内にある冷凍自販機にも期間限定ですが冷凍カレーパックを開かれてきました。ロールパックメッシュページの作成や勉強会、道内視察研修も実施しました。根室地区青協の事業・大会・研修にも参加し他地区的青年部とも交流をすることが出来ました。

年々部員が減少していく中、今年度は新入部員が加わり、活動にも積極的に参加してくれました。新入部員と農協若手職員との交流会も実施し、親睦を深めることができました。

また7月の参議院議員選挙では、東野ひでき氏を全道の青年部が一丸となつて応援するにあたり、当青年部でも出来る限りの応援をいたしました。応援・ご協力をして下さった皆様、本当にありがとうございました。これらの活動を通して充実した1年を過ごすことが出来たと思います。

今年も青年部一同、力を合わせて各活動に取り組んで参りますので皆様におかれましては今後ともご指導の程お願い申し上げ、新年的挨拶と代えさせて頂きます。



新年あいさつ

中春別農協女性部 部長 斎藤道子

新年あけましておめでとうござります。

皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えてされましたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、組合員の皆様、ご家族、役職員の方々のご理解とご協力を頂き、

深くお礼申し上げます。

本年も、女性部らしい「つながり」「学び」「支え合い」を行い、参加者同士の交流も深まり、楽しく和やかな雰囲気の中で多くの笑顔が見られました。皆様の積極的なご参加が、女性部活動の大きな力となつております。

昨年を振り返りますと、物価高騰やお米の値上がりなど、私たちの生活に直結する課題が多い一年でございました。こうした状況の中でも、女性部の皆様が前向きに活動へ参加してくださり、学びと交流の場を共にできましたことに、心より感謝申し上げます。

女性部では、宿泊研修として札幌・定山渓方面へ出かけ、コカ・コーラ工場の見学や大倉山ジャンプ競技場、赤れんが庁舎などをめぐり、充実した学びの時間となりました。また、9月には「マンドゥバック作り」を行い、参加者同士の交流も深まり、楽しく和やかな雰囲気の中で多くの笑顔が見られました。皆様の積極的なご参加が、女性部活動の大きな力となつております。

最後になりましたが、今後も女性部活動にご指導・ご協力を願いするとともに、皆様の健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

更なる酪農改良・安定した酪農経営を目指して



中春別乳牛改良同志会 会長 寺澤佳吾

2026年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進におきましては、農協はじめ、各関係機関の皆様に多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

昨年度も我々酪農家を取り巻く

情勢は、配合飼料などの生産資材の高止まりと酪農経営は依然厳しい状況となっております。

そうした中、我々同志会は、日々変化していく情勢でも安定した酪農経営を図るためホルスタインの改良技術、飼養管理技術などのさらなる研鑽と探求を目的に精力的に活動して参りました。

こうした情勢下、今和7年度の事業と致しましては、次世代を担う青年部の協力のもと暑熱対策として「ドライブオフ」について、(株)北海道クボタ 中標津営業所様を招き講習会を開催いたしました。

また、乳牛改良等の更なる知識、技術の研鑽を目的とし、川北の千葉祥一牧場にて視察研修を実施致しました。

更に組合員や地域の皆様にショウや乳牛改良に触れ興味を持つて頂けるよう組合だより紙面上で年2回の「ホルスタイン写真コンテスト」を開催し、好評を頂きました。

各ショウにおいては根室ブランク&ホワイトショウ、北海道ブランク&ホワイトショウ、根室ホ

ルスタイル共進会、全日本ホルス

タイン共進会へ出品致しました。全日本ホルスタイル共進会では

2頭出品し、うち1頭が優等賞8席を獲得致しました。

日頃の乳牛改良の成果と致しましても、2頭が新規エクセレントを獲得し、累計エクセレント頭数は257頭を数えます。これも日々の乳牛改良に対する情熱と努力が実を結んだ結果となりました。

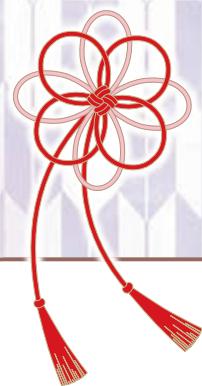
また、当同志会は昨年50周年を迎え、本年は新たなスタートと位置付けて役員一同努力してまいります。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、中春別の地に根差した「牛」を追い求めるべく、活動して参りますので組合員、農協、各関係機

関のみなさまには変わらぬご理解とご協力を願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年



関連会社より新年のご挨拶

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和8年 元旦

 有限公司 中春別マシンセンター

代表取締役 西川 寛 稔

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和8年 元旦

 (有)ジェイエー・ワンプ

代表取締役 西川 寛 稔

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2861・FAX(0153)76-2865

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和8年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和8年 元旦



(株)なかしゅんべつ未来牧場

代表取締役 西川 寛 稔

共和育成センター 別海町中春別115-7 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016
全酪連育成センター 别海町中春別131-42 FAX(0153)76-1878
酪農研修センター 别海町中春別170-1 TEL(0153)76-1230・FAX(0153)76-1232



近年、飼料価格の高騰などを背景に生産コストが高止まりし、酪農経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。生産コストの上昇を乳価に反映するなど、適正な価格転嫁が必要であると同時に、自らの経営を検証し、どのような改善が可能かを検討することも重要です。今回は、経営に関するデータを用いて経営を見直すための基本的な方法について説明します。

経営分析を行う際には、まず、どのデータを用いるかを整理する必要があります。一般に、クミカンなどの取引記録、青色申告書・決算書といった税務申告書、そしてそれらを基に作成する生産原価（おもに牛乳生産費）が主な情報源となります。クミカンは農協を通した取引であれば、項目ごとの費用を簡単に分析することができます。税務申告書は年間の収入や費用が体系的に整理されており、減価償却費などクミカンにはない情報の把握にも役立ちます。また、牛乳生産費は作成に手間がかかりますが、飼料作部門や育成牛部門と搾乳部門を分け、生乳1kgや搾乳牛1頭といった単位で整理されるため、他経営や統計値と比較しやすい指標となります（注1）。

これらのデータを整理したうえで、どのように比較するかを決めることが重要です。比較の方法には、主に①経年比較、②経営間比較、③基準値比較の三つがあります。経年比較では自らの過去の実績を、経営間比較では同じ年の他の経営の実績を、基準値比較では全道平均や優良経営10経営平均といったモデル的な指標を、それぞれ基準として、自経営の位置づけを確認することができます。

そして、図1のような比較結果を踏まえ、日々の作業、機械・施設の状態、繁殖成績などの背景要因を整理し、なぜその差が生じているのかを検討したうえで、優先して取り組むべき改善策を明らかにすることが必要です。自分の経営の立ち位置が把握できれば、近隣の優良経営の取り組みを参考にしつつ、自らの経営でどこまで実践可能かを検討できます。特に、地域内で同じような飼養方式や条件で経営している優良経営は、具体的で取り組みやすい見本となります。

注1 農業試験場では、クミカンデータ、青色申告書を分析するツールや牛乳生産費を作成するツールを作成し、提供をおこなっています（図2）。

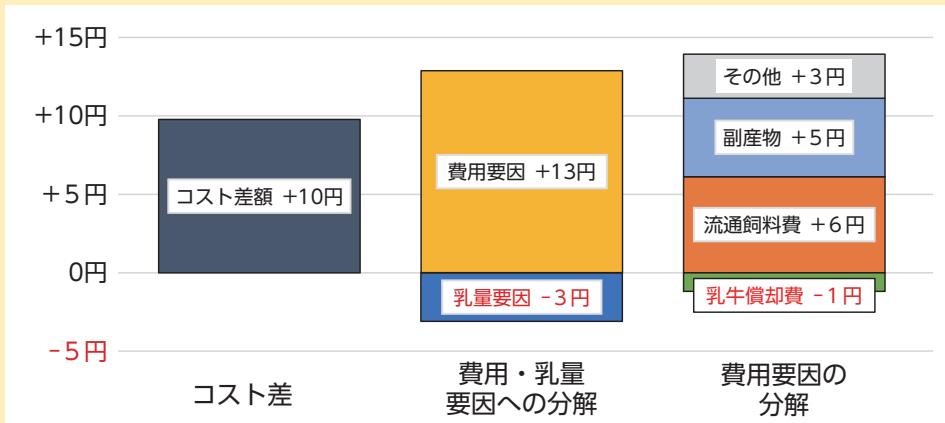


図1 乳量1kg当たり牛乳生産費（北海道）の変化の要因分解（2021と2022年の比較）

資料：畜産物生産費統計

	クミカン	青色申告書決算書	生産費
必要な情報	出荷乳量と頭数	出荷乳量と頭数	出荷乳量、頭数、取引記録、固定資産台帳、労働時間の聞き取り等
○メリット ×デメリット	○簡易 ×経営全体	○簡易 ○比較対象多い ×経営全体	○生産物単位 ○全て要素反映 ×必要情報多
ツール名	組勘データ見える化ツール	所得解析ツール	牛乳生産費集計ツール

図2 経営データごとに分析に必要な情報とメリット・デメリット



根室農業改良普及センター

畜農対策情報

衛生的乳質改善シリーズ⑥ 乾乳期に乳房炎を 防除・早期発見するためには

- 乳房炎の新規感染が起こりやすいのは、乾乳にしたばかりの2週間と、分娩直前から分娩直後にかけての2週間となっています。
- ◆ 今回はこれらの感染リスクが高まる時期に発生する乳房炎の早期発見や防除方法についてお伝えします。

①乾乳にした後の2週間

- 搾乳により乳頭管内の細菌が排出されず、閉じきっていない乳頭口から細菌が侵入しやすいため、乳房炎に罹りやすくなります。

- I. 乾乳直前の体細胞数（リニアスコア）や「P.L テスター®」^(注)により、乳房炎の疑いがあれば獣医師の判断を仰ぎ、直ちに治療しましょう。
- II. 各分房へ乾乳軟膏（抗菌性物質）を投与することで、原因菌を約1ヶ月間排除できます。
同時に、①乾燥した牛床、②シール剤の注入・貼付、③ディッピングによる乳頭の消毒も効果的です。

(注)日本全薬工業(株)の
乳房炎簡易診断液です。

数週間で乳頭内部に栓が形成され、
新規感染率も抑制されます。



充分な敷料により
乳房が常に清潔に
保たれています



▶ 分娩前乳汁の判別基準

	正 常	要注意	要診断
リニアスコア	~2	3~4	5~
pH	6.5~6.7		6.8↑
粘度（凝集）	凝集せず シャーレの 表面を平滑に 流れる（正常）	正常～ シャーレの 表面に 凝集片残る	粘度やや強く 凝集片多数～ 完全に凝集 (ゼリー状)
P.Lテスター® 使用時の色調			

乳頭をシール剤で覆って
物理的に防除している
酪農家もいます

衛生的乳質改善シリーズ⑥

乾乳期に乳房炎を 防除・早期発見するためには



②分娩前2週間

- 分娩が近づき免疫低下・ストレス状態だけでなく、初乳の貯留・漏乳により病原菌が侵入しやすくなっています。

- ★ 分娩 7 ~ 10 日前に搾った 分娩前乳汁 を P.L テスター® 液 で確認した際の色調変化や、シャーレを傾けた際の粘度（凝集）から判定
→ 疑わしい症状が出た場合は獣医師に連絡
→ 要治療ならば泌乳期の乳房炎軟膏で治療

乾乳期に完治させることで、次期乳量の損失を抑えられます。

出典：釧路農業改良普及センター
「乳房炎簡易診断液の使い方」

北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

1月号



●【酪農経営科】

たんぽぽ牛の商品化検討会in根室――

別海でジャージー種×黒毛和種の肉を生産されているたんぽぽ牧場、加藤様と特產品開発の研究を酪農経営科の生徒10名が取り組んでいます。その一環として、12月10日(水)にたんぽぽ牛の商品化検討会が「ねむろお魚食堂」で行われ、酪農経営科2、3年生が参加しました。現在、酪農経営科2、3年生がたんぽぽ牛の商品化について、食品製造の授業を利用し、取り組んでいます。今回の検討会は、たんぽぽ牛をお店で提供されている「ねむろお魚食堂」でたんぽぽ牛の料理の試食を行い、店主より肉を扱う上でのアドバイスをいただきました。参加した3年生武藤匠馬さん(厚床中出身)は「自分たちで作っているハンバーグとは違い、肉を感じるハンバーグでおいしい。今後自分たちのハンバーグも商品化できるように脂肪分の割合を調整し、食べやすく、たんぽぽ牛を感じられるようなハンバーグにしていきたい」と話してくれました。

今回、この企画はたんぽぽ牧場、加藤様のご厚意で実現しました。感謝申し上げます。

●【酪農経営科】

校内実績発表大会・農家委託実習・インターンシップ報告会!

12月19日(金)に令和7年度校内実績発表大会、農家委託実習・インターンシップ報告会が行われました。

乳製品加工班は「別海の恵みを届けるキッチンカー～酪農の仕事をもっと身近に～」、地域資源活用班は、「Beccow Farm～別海高校生による酪農と畑作の複合経営を目指して～」、農業と環境班は、「トウモロコシについて」、農家委託実習・インターンシップの報告は目標・目的・成果・後輩へのアドバイスなどをまとめ発表しました。

報告を行った2年石橋大夢さん(中央中出身)は「この日までたくさん練習し、当日は緊張もしましたが上手に発表することができて良かったです。」と話してくれました。

大変お忙しい中、町内外よりたくさんの方の参観をいただきましたことを感謝申し上げます。



試食会の様子

（参考）

●【専攻科】中間発表会

11月6日(木)、専攻科ゼミ室において中間発表会を実施しました。本発表会では、1年目学生は「基礎研究」、2年目学生は「修了研究」の授業で取り組んでいる研究内容について発表しました。



発表会の様子1



発表会の様子2

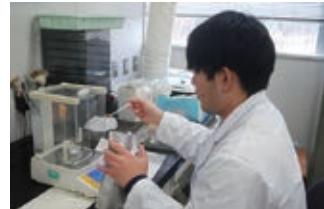
1年目の野田隆世さんは、「経営実態調査について」をテーマに、家庭の経営を調査する中で乳量や乳房炎に着目し、研究を進めていることを発表しました。

また、2年目の坂野下舞奈さんは、「周産期疾病罹患率低減を目指して」をテーマに、ウシの健康管理を通じた経営の安定化を目標に研究を進めていることを発表しました。

2月には、1年間の研究成果をまとめた研究発表会を予定しています。今回の中間発表で得た課題や助言を生かし、さらなる研究の充実に向けて取り組んでいきます。

●【専攻科】酪農試験場 飼料分析

11月27日(木)、酪農試験場において、1年目学生の野田隆世さんが飼料分析を行いました。



飼料分析の様子1



飼料分析の様子2

農業特別専攻科では、1年次に、家庭で使用している土壌や飼料を酪農試験場で分析する授業を行っています。今回は、野田さんが自宅で使用しているサイレージの分析に取り組みました。分析作業では、グラム単位の計量を丁寧に行い、慎重に作業を進める姿が見られました。中でも、飼料に近赤外線を照射して成分を短時間で分析する近赤外分光分析装置は、初めて使用する機器であったため、仕組みを学びながら操作や結果を確認していました。

今回の実習を通して、実際に使用している飼料の成分を数値として把握することの重要性を学ぶことができました。今後は、今回得られた分析結果をもとに、より良い飼料設計や安定した酪農経営につなげていくことが期待されます。



発表の様子

ご協力が必要です! 金融犯罪の減らし方

JAバンクの取り組み



金融犯罪を減らすためにご利用のお客さまにお願いしたいこと

窓口での確認手続

JA銀行では、口座開設の際などに法令に基づくご本人さまの確認を行っております。また、盗難通帳や偽造印鑑による不正な払戻し、口座の不正利用を防ぐため、貯金の払戻し時などに改めて確認書類のご提示をお願いしたり、ご利用目的をお伺いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。



郵送書類等による確認手続

JA銀行では、お客様の口座が第三者に不正利用されることを防ぎ、安心してお取引いただくために、定期的にハガキや封書を送付してお取引目的等のご確認をさせていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、お客様の情報を確認させていただくにあたり、対面でお客様のキャッシュカードをお預かりすることや暗証番号をお聞きすること、郵送やメールからのご案内を通じてウェブサイトに誘導し、ネット銀行のIDやパスワード、暗証番号の入力を求めることはございません。JA銀行をかたる上記のような依頼は、すべて詐欺ですのでご注意ください。

すぐにご相談を

相手がだれであるかにかかわらず、電話やメールによる次のような内容は詐欺です。何かおかしいと思ったら、すぐにお取引店舗や最寄りの警察までご連絡ください。

- 「口座が停止されます」
- 「未払い料金があり裁判になります」
- 「暗証番号を教えてください」
- 「キャッシュカードを回収します」
- 「還付金があるのでATMで操作してください」
- 「確実にもうかる投資話があります」

協力すれば、金融犯罪は減らせる。

JA銀行では警察と連携し、金融犯罪撲滅に向けて取り組んでいます



JAネットバンクをかたる フィッシングメールが急増！

【メール本文の内容は巧妙なので、件名に注目！！】



【件名の例】

- ①：お客様の資金保護のための本人確認のお願い
- ②：口座振替結果のご案内
- ③：ご利用アカウントの確認手続きのお願い
- ④：ご利用口座の安全確認手続きのお願い
- ⑤：お客さま情報等の確認について

【メール本文】

- ・ 本人確認をさせる内容
- ・ URLのリンクが掲載

→クリックすると

偽のログインページが表示される

ログイン

I D

P W

JAネットバンクでは、電子メールによる
本人確認は行っていません！！



ネットバンキング不正送金被害に遭わないために・・・

- ・ メール本文のURLリンクは絶対に開かない！
- ・ 生体認証やワンタイムパスワード等を利用してセキュリティを強化する。
- ・ 事前に正規ログインページをブックマークし、必ずそのブックマークからアクセスする。
- ・ あらかじめ取引限度額を引き下げておく。
- ・ パスワードの使いまわしをしない。
- ・ 被害にあったらすぐにヘルプデスクや、警察に連絡する。



北海道警察HP
サイバーセキュリティ広場

北海道警察



JA銀行 北海道



YouTube動画
サイバーセキュリティ講座



Information

なかしゅんべつインフォメーション

なお、令和8年1月1日より、準職員として引き続き生乳課で勤務しますので
宜しくお願い致します。

生産部 生乳課 森 嶋 智 成

令和7年12月31日付退職

準職員紹介

土日ミルク

子どももの1日に必要なカルシウムは牛乳3杯分！

牛乳に含まれるカルシウムは、骨の成長や健康な骨の形成に必要な栄養素。1日に必要な小中学生のカルシウム推奨量は650～1,000mgです。

給食のない休日は、おうちで牛乳を飲もう。

しかし給食のない日、おうちで牛乳を飲まない家庭では小中学生のカルシウム摂取量が減っています。

合言葉は「**土日ミルク**」！

土日になったらミルクを飲む。こんな習慣をつけることで、無理なく自然にカルシウムを摂取できます。
ぜひ実践してみてください！

milk

JAへの就職希望者100%就職内定 (令和7年度実績)

令和8年度 入学生第3回募集

- 定員40名
- 男女共学
- 1力年
- 寮完備(個室)／通学可
- 受験資格:満27歳未満(令和7年4月1日現在)／大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和8年2月15日(日)
- 願書受付:令和8年1月6日(火)～1月23日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

お問い合わせ
資料請求

JAグループ職員養成校
JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 JAカレッジ 検索▶

法人道民税
事業税
特別法人事業税
(地方法人特別税)

の申告は便利な eLTAX で!

エルタックス

eLTAX（エルタックス＝地方税の電子申告）には、次のようなメリットがありますので是非ご利用ください。

- インターネットで自宅やオフィスから申告ができます。
- 複数の地方公共団体に対する申告をまとめてできます。
- 利用者用ソフトで自動入力・自動計算など申告書作成をサポートします。
- eLTAXに対応した市販の会計ソフトからの送信も可能です。

eLTAXの詳しい情報については次をご覧ください。

●eLTAXホームページ

<https://www.eltax.lta.go.jp>

●北海道 総務部 財政局 税務課ホームページ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/dshinkoku/index.html>

問い合わせ先 北海道根室振興局 税務課 課税係 電話0153-24-5482(直通)

11月乳質乳価一覧表

		単 価 (円)	算 出 基 礎 (kg)	支 払 乳 価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)
乳 脂 脂 脂 分		1,474.210		63.06	59.47	3.59
無 脂 乳 固 形 分		616.811		55.30	52.53	2.77
生 産 者 補 給 金		7.2754		7.28	6.96	0.32
集 送 乳 調 整 金		2.1850		2.19	2.09	0.10
補 給 金 合 計		9.4604		9.47	9.05	0.42
乳 质 单 価	生 菌 数	ランク1	2	303,947,255.9kg	3.81	0.00
		ランク2	0	10,377,574.9kg		
		ランク3	-3	276,014.1kg		
	体細胞数	ランク1	2	291,170,775.6kg		
		ランク2	1	12,668,536.6kg		
		ランク3	-2	1,521,012.8kg		
合 计				131.64	124.86	6.78

11月生乳受託実績表

項 目	単価(円) / (kg) %
乳 脂 脂 分 ①	63円6銭
無脂乳 固形分 ②	55円30銭
生産者補給金 ③	7円28銭
集送乳調整金 ④	2円19銭
脂 脂 脂 脂 率	全道 4.28%
	農協 4.46%
無 脂 固 形 分 率	全道 8.97%
	農協 8.95%
成 分 乳 価 (①+②+③+④=⑤)	全道 127円83銭
	農協 130円47銭
乳質乳価 ⑥	全道 122円550銭
	農協 125円22銭
乳 代 合 計 ⑤+⑥	全道 131円64銭
	農協 134円22銭
差 異	2円58銭



午は十二支の7番目で南の方角を指し、正午（お昼12時）の由来にもなっています。

また絵馬の起源や「左馬」のような縁起物としても親しまれています。漢字の「午」自体は、「草木が茂り、陽気が極まる様子」を表す象形文字で、動物の馬とは直接関係がありません。昔からの言い伝えとして幸運・開運の面で馬は「神の乗り物」や「希望を運ぶ」存在として、絵馬の起源にもなり、幸運や繁栄の象徴と言われています。

一般的に知られているのは十二支の「午」ですがより正確には「丙午（ひのえうま）」と言われています。丙は、十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また午は古くから人間とともに生きてきた動物であり、駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。そのため2026年、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になると考えられます。

丙午の持つ強いエネルギーを「決断と行動」に活かし、先延ばしせず目標に向かってみましょう。